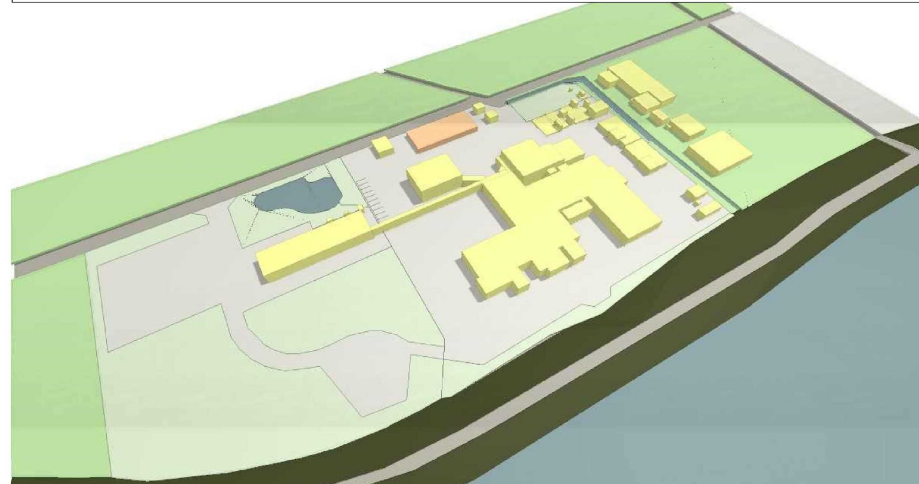
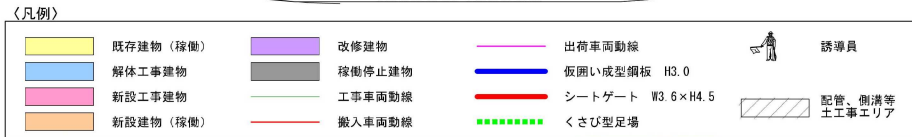
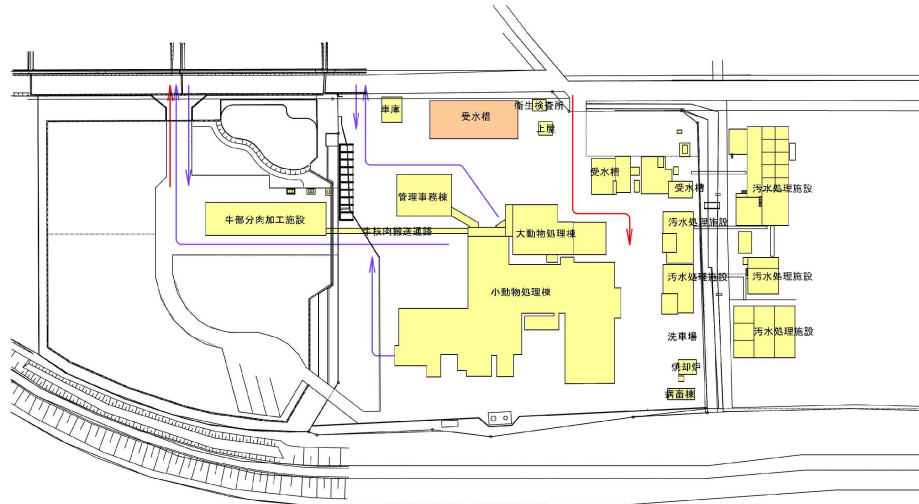


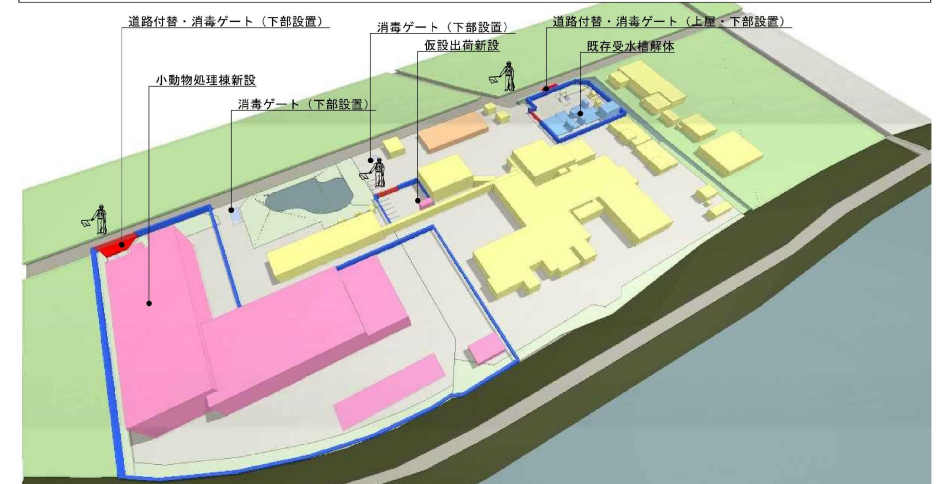
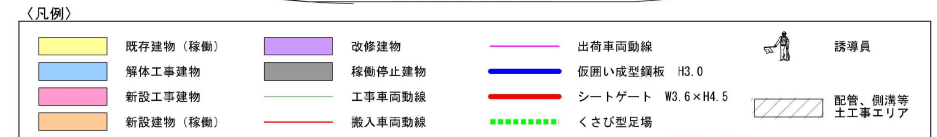
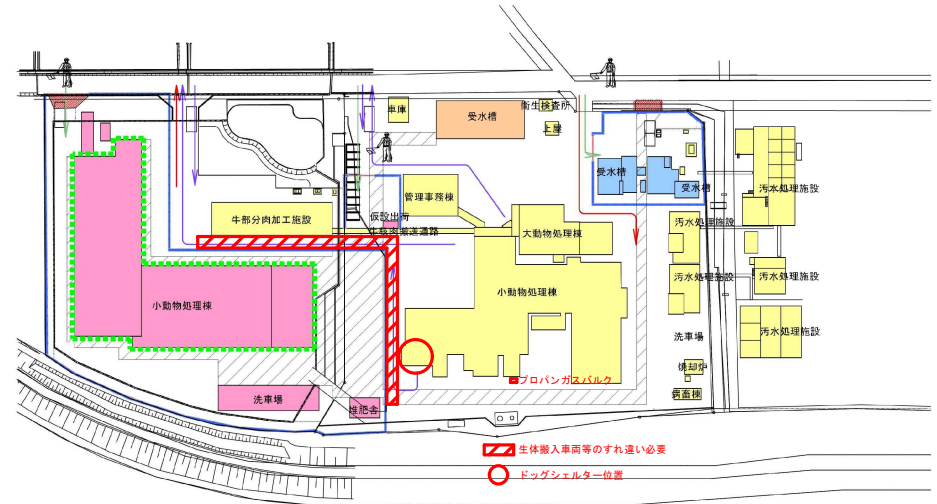
## 現場視察時に行なった質疑回答

No	質疑	回答
1	新小動物棟の工事の時、隣接の稼働施設側では生体搬入車両等ほどの程度出入りするののか。また、既存稼働施設（大動物部分肉加工施設）と新小動物棟の工事用仮囲いは、車両のすれ違いを考慮して仮囲い位置等を考える必要があるのか。	10 tトラックが出入りし、ほぼ毎日20～30台くらいが往復する。また、フルトレーラーが出入りする時もある。すれ違いを考慮して仮囲い等を考えること。ただし、設計技術協力業務の中で、施設管理者とも協議しながら再検討する。（質疑がされたすれ違いが必要な部分は、別紙工事計画④-1参照）
2	隣接の稼働施設（豚部分肉）の出荷口ドッグシェルターについて、新小動物棟の工事用仮囲いを設置すると一部使えなくなる可能性があるがよいか。	生体搬入車両等が往来ができ、かつ、ドッグシェルターは使用できる状態とすること。（ドッグシェルターの位置は別紙工事計画④-1参照）
3	プロパンガスバルクは何に利用しているのか？	豚足の毛焼き用に使用している。（プロパンガスバルクの位置は別紙工事計画④-1参照）
4	数量書（参考資料）、「I-2 冷凍冷蔵設備工事」のうち、「冷凍冷蔵設備改修工事-大動物処理棟・改修」の項目について、備考に記載の「3室のうち1室は既設冷凍機器再利用」の意味は？	3室（解体C、解体D、けい留）のうち1室（けい留）の機器は既存再利用を計画している。

③工事なし（欠番）



④-1 小動物処理棟、堆肥舎、洗車場、仮設出荷の新設、既存受水槽の解体、道路付替工事、消毒ゲート



年度 年 ステップ	令和4年度（2022年）				令和5年度（2023年）				令和6年度（2024年）				令和7年度（2025年）				令和8年度（2026年）																																								
	①				②				③				④-1				⑤				⑥-1				⑦				⑧				⑨				⑩																				
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
工期（か月）					Ⅰ期工事				Ⅱ期工事				Ⅲ期工事				Ⅳ期工事				Ⅴ期工事																																				
工事ステップ別の工期																																																									
発注・入札準備等 工事					受水槽工事				入札																																																